

## 2013 年度 小委員会活動成果報告

(2014 年 1 月 30 日作成)

小委員会名	RILEM 小委員会		主 査 名：野口貴文 就任年月：2013 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会		委員長名：本橋健司 主 査 名：
設 置 期 間	2013 年 4 月 ～ 2015 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>RILEM における活動に対する情報収集を行い、建築材料および試験方法に関する国際的な研究動向を把握し、国内の研究者・技術者に周知することによって、我が国の当該分野の研究の発展に寄与するとともに、RILEM を通じて日本建築学会の研究活動を国際的に伝達・普及するための活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 初年度：RILEM の研究活動分析および建築雑誌・ホームページでの情報発信</li> <li>・ 2 年度：同上</li> </ul>		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	主査：野口貴文 (東京大学) 幹事：今本啓一 (東京理科大学) 委員：大濱嘉彦 (日本大学)                      西脇智哉 (東北大学) 兼松学 (東京理科大学)                      細川佳史 (太平洋セメント) 閑田徹志 (鹿島建設)                        三橋博三 (東北工業大学) 道正泰弘 (東京電力)                         武藤正樹 (建築研究所) 中島史郎 (建築研究所)                      本橋健司 (芝浦工業大学) 下澤和幸 (日本建築総合試験所)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2013 年度予算	191,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： <a href="http://news-sv.ajj.or.jp/zairyou/s3/">http://news-sv.ajj.or.jp/zairyou/s3/</a>	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. RILEM の TAC および DAC のメンバーが本小委員会のメンバーであるため、RILEM の活動の最新情報を取得でき、その動向を綿密に分析することができた。 2. 我が国で研究を進めてきたポリマーセメントモルタルの耐火性に関する新規委員会の設置が 9 月の RILEM・TAC および総会において承認された。
委員会活動の問題点・課題	1. 日本の RILEM 会員全員が本小委員会メンバーではないため、原稿執筆をお願いする際に、幾分の困難を伴う。 2. RILEM の情報を得るために、欧州等で開催される RILEM の委員会活動に参画するが、その旅費等は個人の研究費等で賄わなければならない。 3. 昨今、RILEM における日本人 (特に建築分野) の活動が低調であるため、日本建築学会における委員会活動も低調になりがちである。

\*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。